

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立豊田小学校
校 長 名 加藤 敏行
(公印省略)

令和7年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。
記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基底として、未来をひらき平和的な国家及び社会を形成する日本人としての自覚と資質・能力を備えた心身ともに健康な人間の育成を目指す。

○たくましい子（「心身ともに健康な体・行動力」「社会貢献力」）

○たすけあう子（「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」）

◎かんがえる子（「基礎・基本となる力」「表現力・発信力」「対話力」「自己有用感」）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

みんなが安心・成長できる学校づくりを目指して、以下の基本方針を定める。

ア たくましい子「心身ともに健康な体・行動力」「社会貢献力」を育成するために

- ・健康や安全に関心をもち、すすんで運動に親しみ、目標の実現に向けて粘り強く取り組む態度を育てる教育活動を展開する。
- ・学校運営協議会委員を中心とした地域人材を活用し、体験学習の充実を図る。

イ たすけあう子「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」を育成するために

- ・生活指導の充実を図り、児童一人一人が大切にされていると感じる学校風土を構築する。
- ・誰もが安心して安全な学校生活を送ることができるよう、校内別室指導を核とした不登校児童の支援を充実させる。
- ・特別支援教室の運営ガイドライン及び「ひのスタンダード」に基づき、特別支援教室の適切な運営と指導の充実を図る。

ウ かんがえる子「基礎・基本となる力」「表現力・発信力」「対話力」「自己有用感」を育成するために

- ・授業のユニバーサルデザイン化やICT機器の効果的な活用を進め、「できる・分かる」喜びが体感できるような学習を展開する。

エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ・全教育活動において、第4次日野市学校教育基本構想「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進する。
- ・学校経営方針の具現化に向けた実効性ある学校運営協議会を運営する。
- ・校舎大規模改造工事に伴う移転作業を円滑に実施する。特に、「学びの情報センター」の竣工に向けて、蔵書の移転や配架などの各種整備を組織的、計画的に行う。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・第4次日野市学校教育基本構想「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進し、自己決定を重視した授業展開を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。また、年間3回、外部講師を招聘した授業研究を実施する。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るために、児童一人一人の可能性を引き出す学びを展開させる。
- ・各種学力調査、保護者や児童アンケートの結果を分析し、課題を明確にして、授業改善に努める。さらに、指導と評価を一体化することにより、児童の学びに向かう意欲を向上させる。
- ・発達段階や各教科等の特質に応じて、習熟度別指導などの多様な学習形態の授業を展開する。また、ICT機器を積極的に活用して、個に応じた学びの充実を図る。

イ 特別の教科 道徳

- ・学校の重点内容項目として、「親切、思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」を設定する。
- ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、物事を多面的・多角的に考えられるよう指導を工夫し、自己をみつめる活動を重視する。
- ・「考える道徳」、「議論する道徳」となるように、道徳的諸価値に対して、教材、他者、自己と向き合い、考え、対話することを通して児童の道徳性を養う授業を展開する。
- ・「道徳授業地区公開講座」を開催し、保護者や地域住民と連携して児童の道徳性を育む。

ウ 外国語活動

- ・コミュニケーション能力の素地となる資質・能力の育成を目指し、英語によるコミュニケーションの楽しさが味わえるよう、外国語の専科教員を核にALTとの連携を強化し指導の充実を図る。
- ・外国の文化に触れる活動を充実させることで、異文化に対する理解を図る。

エ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習活動を通し、活動に主体的に関わろうとする児童、創造性を発揮する児童、新たな価値観や行動を生み出し、豊かで活力ある未来を創造できる児童を育む。
- ・地域社会に貢献し、持続可能なまちづくりの一員となる態度を育むためのカリキュラムを構築し、地域を学びのステージとした探究的な学習を推進する。
- ・SDGsカレンダーを適宜見直し、それに基づいて各教科等の合科を図った授業を充実させる。

オ 特別活動

- ・学校行事、児童会活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり班活動において、自覚と責任を育てるために、児童にリーダーとなる経験をさせるとともに、児童の主体性を生かした活動を核として第4次日野市学校教育基本構想「子供たちがつくる学校プロジェクト」を強力に推進する。
- ・各教科等を学ぶうえでの基盤となるように、自分の考えをもち、話し合い、考えを深める活動を中心にした学級活動を充実させ、学級生活上の様々な課題を主体的に解決しようとする態度を育成するとともに、一人一人の個性や能力を認め合う学級集団を形成する。
- ・年間指導計画に「キャリア・パスポート」の取り組みを位置付けるとともに、「キャリア・パスポート」を活用しながら児童が自ら成長を実感できるよう系統的な指導を行う。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・第4次日野市学校教育基本構想「子供たちがつくる学校プロジェクト」に基づき「豊田小のきまり」を策定し、その指導を通して児童の自己指導能力を育む。特に、年間を通して「挨拶の励行」に取り組んで習慣化を図るとともに、場にふさわしい挨拶を身に付けさせる。また、話の聞き方や話し方の基本の徹底、正しい言葉遣いができるようにする。
- ・生活指導夕会や校内委員会等で、不登校児童や不登校傾向が見られる児童について、学校全体で共通理解を図り、組織的に対応していく。子ども家庭支援センター、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等、関係諸機関や福祉・心理の専門家と連携を図り、児童や保護者に寄り添った支援をする。
- ・「豊田小学校いじめ対策委員会」を核として、いじめに関するアンケートを年間5回実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。学期1回の「いじめに関する授業」、「いじめに関する校内研修」を実施し、いじめの未然防止を図る。また、「人権教育プログラム」を活用し、計画的、系統的な指導を図ることで人権教育を充実させる。
- ・子ども家庭支援センター、八王子児童相談所などの関係機関と連携を図り、児童の安全を確保する。
- ・毎月1回実施する安全指導に加えて、交通安全教室、セーフティ教室、災害体験者から学ぶ会、薬物乱用防止教室、平和講演会、SOS の出し方に関する教育などを計画的に実施し、命の大切さを体験的に実感させる。また、様々な状況を想定した避難訓練を実施し、有事の際に迅速な初動対応がとれるようにする。
- ・児童の発達段階に応じた「生命（いのち）の安全教育」を行うことにより、性犯罪・性暴力の被害者・加害者・傍観者のいずれにもならない判断力を身に付ける。

イ 進路指導

- ・キャリア教育の視点として、児童が働くことや人の役に立つことの大切さを感じることができるように、創意工夫のある委員会、係活動、当番活動を行う。
- ・中学校生活に見通しと安心感をもつことができるようにするために、中学校と連携を図り、中学生と交流する機会を計画的に設定する。

(3) 特色ある教育活動

- ・第4次日野市学校教育基本構想「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進する一貫として、「自然教育の林（第2校庭）」や令和7年度中に竣工予定の「学びの情報センター」等、校内の施設設備の効果的な活用を図る。
- ・「情報モラル教育年間計画」に基づき、情報モラル教育の取組を充実させる。
- ・学校2020レガシーとして、講師を招聘したタグラグビー教室、空手道教室など開催する。
- ・給食の食材生産者や調理員と交流することを通して、食への感謝の気持ちをもたせるとともに、食に関する知識を身に付けさせ、望ましい食習慣やマナーを身に付けさせる。
- ・「豊田小スタートカリキュラム」を実施し、学校生活への円滑な接続を図る。また、児童と近隣保育園、幼稚園の園児との交流活動を実施し、年下との交流を通して、思いやりや他者への優しさを育むとともに、自らの成長に気付かせる。